

<b>タイトル</b> (活動概要)	<b>34 たおさずキャッチ</b>	<b>アプローチ</b> (関連する力)		「自分づくり」② 「仲間づくり」⑬	
<b>タイミング</b> (実施時期)	通年	<b>活動場所</b>	運動のできる広い場所	<b>所要時間</b>	5～15分
<b>対象学年</b>	幼・ <input type="checkbox"/> 小低・ <input type="checkbox"/> 小中・ <input type="checkbox"/> 小高 中1・中2・中3・高	<b>対象規模</b>	学級	<b>活動場面</b>	体育
<b>活動のねらい</b>	<背景>友達と共通の課題を達成するために、協力して取り組む経験が不足している ・仲間で集中して <b>タイミングを合わせるよさを感じる</b> ・自分の体を素早く動かし棒を受け止める感覚を味わう				
<b>準備</b>	・人数分の棒 ・動きやすい服装				
<b>学習活動</b>		<b>支援の観点・留意点等</b>		<b>資料等</b>	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           友達とタイミングを合わせて、棒を倒さないようにキャッチしよう。         </div>					
2 主活動 ○やり方を知る ・立てた棒を倒さないように、相手の場所へ移動して相手の立てた棒をつかむ ○いろいろなやり方でキャッチする ・2人1組になって（上手になったら2人の距離を離す） ・4人1組になって（慣れてきたら、円を大きくしたり逆回りにしたりしてみる） ・クラス全員でやってみる		・メンバーと気持ちを一つにして協力することがねらいであることを知らせる  ・メンバーで声を掛け合って集中することを助言する ・教師が声をかけてもよい			
3 ふり返り ・たおさずキャッチをやって、感じたこと気づいたことを発表する		・協力することの具体的な感想が出たらしっかりと受け止めてほめる			
<b>配慮事項</b>	・失敗した子を責めないように配慮する ・棒を倒さずにクラス全員がキャッチできたときはしっかりと賞賛する				